

全国情報セキュリティ啓発キャラバン

「インターネット安全教室」の御報告

誰でも手軽にインターネットに接続できるようになった今日、ウイルス感染、詐欺行為、プライバシー侵害など情報犯罪の被害にあう危険性がますます高くなってきている。いかに技術が進歩しても、ひとりひとりの意識の向上、モラルの徹底がなければ、情報犯罪を防ぐことはできない。こうした状況をふまえ、経済産業省とNPO日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)は、家庭や学校からインターネットにアクセスする人々を対象に、どうすればインターネットを安全快適に使うことができるか、被害にあったときにはどうすればよいかなど、情報セキュリティに関する基礎知識を学習できるセミナー「インターネット安全教室」を開催した。この「インターネット安全教室」は、全国11カ所の自治体・学校法人・団体・商工会議所にご協力いただき、その他、警察庁、各地県警、放送局・新聞社・教育機関等の後援を得て、2003年10月～11月にかけて開催した。

期 間 2003年10月～11月

開催地 全国11カ所

主 催 経済産業省

NPO日本ネットワークセキュリティ協会

後 援 警察庁

その他、共催地毎の後援団体あり

共催並びに開催場所 下記の通り

日 程	県 名	共催地	開催場所
10月8日(水)	奈良県	なら情報セキュリティ研究会	帝塚山大学
10月23日(木)	福井県	福井県高度情報化推進協議会	福井県中小企業産業大学校
10月25日(土)	岡山県	岡山市情報政策課	岡山市職員研修所
10月27日(月)	徳島県	徳島県	徳島県立工業技術センター
11月1日(土)	神奈川県	学校法人岩崎学園	岩崎学園校舎
11月7日(金)	福岡県	学校法人麻生塾	麻生塾福岡校
11月13日(木)	沖縄県	浦添市	浦添市民会館
11月15日(土)	大分県	財団法人ハイパーネットワーク社会研究所	大分県立芸術文化短期大学
11月18日(火)	大阪府	北大阪商工会議所	北大阪商工会議所
11月22日(土)	北海道	北海道情報大学	北海道情報大学
11月29日(土)	新潟県	にいがた産業創造機構 NPO新潟情報セキュリティ協会	にいがた産業創造機構

今回のインターネット安全教室は、主に、家庭や学校からインターネットにアクセスする人々や、セキュリティ啓発活動に携わる人々を対象としたセミナーである。個別のセキュリティ技術や政策などのセキュリティセミナーは首都圏では数多く開催されているが、このような一般の方々を対象にしたセキュリティ知識の底上げを目標としたセミナーは、あまり類をみないものであると言えるだろう。

各地毎に会場の規模が異なるが、集客に多大なるご尽力をいただいた共催者の方々のご尽力のお陰で、平均して100名～200名の方が参加され、沖縄では浦添市民会館にて700名が参加する大イベントとなり、11カ所全体では、2000名を超える方が参加したことになる。

【プログラム内容】

プログラムは2時間構成で、前半は今回のために新たに制作した映像CD-ROM「インターネット安全教室」(約20分)の上映とそれに関する講師解説、後半は県警の方の解説「インターネット犯罪にあわなために」と実機4台を使った体験学習、質疑応答であった。参加者全員に、今回上映したCD-ROM(解説冊子付き)と、ノベルティとして紙製ボールペンとステッカー、紙扇子が渡された。

●CD-ROM映像

CD-ROM映像では、下記の6つのテーマに分けて作成した。できるだけ今年の事象も取り入れるよう配慮し、メールについてはウイルス感染メールだけでなく今問題に



奈良インターネット安全教室風景



神奈川インターネット安全教室風景

なっている債権回収督促メールについても触れ、その他、無線LANを使用している際の傍受やインターネットショッピング・オークションを楽しむ場合の注意点などもわかりやすく映像で解説している。

- 1.危険なメールとホームページ
- 2.個人情報の漏えい
- 3.しのびよる詐欺行為
- 4.掲示板、チャットのマナー
- 5.侵入されるパソコン
- 6.ホームページ作成の落とし穴

●体験学習

体験学習では、ウイルスメールへの感染を実際に模擬体験し、実際のウイルスを映像として画面で見えていただいた。(※ただし、現在のウイルスやワームは目で見てそれとわかるものが少ないため、ほとんどがかなり前のものである)その他、キーロガーを利用した、入力パスワードの漏洩の体験、メーラーやブラウザでのセキュリティ設定の方法などを解説した。

体験学習では、通常使っているブラウザやメーラーでも、その機能を熟知して利用している人は少ないようで、熱心にメモをとる方が多かった。また、ウイルスも実際に見る機会は大変少ないため、アンケートでも「ウイルスを見ることができて良かった」という意見が多かった。

●全体を通して

平日の実施が多かったため高齢者の方の参加が多かったが、参加者の方々は非常に熱心な様子であり、各地で

全国情報セキュリティ啓発キャラバン



北海道インターネット安全教室警察庁間仁田氏講演

体験学習や質疑応答に手を挙げる人がいないのではと懸念していたが、結果的には体験学習にも積極的に手を挙げていただけた。また、高齢者を含めて申込の大半はメールであり、インターネットの普及率を感じさせた。誰もが手軽に使えるインターネットだが、セキュリティの知識をきちんと認識している人は、ネットワーク業務に携わるごく一部の人であり、実際に対策として何をすれば良いのか、自分のPCは本当に安全なのかをわかっている人は案外少ないと思える。今回のインターネット安全教室の当初の企画は、インターネットは車と同じように安全だが、車社会と同じように危険（個人情報の漏洩やウイルス感染など）も伴うものである。各学校などで行なわれている交通安全教室と同じように、インターネットの安全教室も定期的に行なわれるべきではないかという想いから始まった。インターネットを取り巻く環境は日々変わっていくので、このような教室も毎年定期的に繰り返されるべきではないかとの想いを強くした。アンケート



徳島インターネット安全教室風景



新潟インターネット安全教室経済産業省大崎氏主催者挨拶

の結果を見ても、大多数の方に満足して帰っていただけたことは、運営側としては大変に喜ばしいことであった。

今回参加者の方々に配布したCD-ROMを土台に、その方々が家庭であるいは職場でさらなるセキュリティ知識の向上に努めていただけることを切に願う。また、CD-ROMをツールとしてさらに多くの方にセキュリティの知識を学んでいただけると幸いである。

最後に、今回の開催には、集客と会場提供に多大なるご協力をいただいた各共催地のご担当者の方々、ご後援いただき各地の県警との連携をとっていただいた警察庁、CD-ROMコンテンツの内容検討に時間を割いていただいたJNSAセキュリティ啓発WGのメンバー、映像制作の池田事務所さま、村山監督、アドバイザーの木村氏等、多くの方々のご協力と連携の元に実施することができた。JNSA単独ではなかなか実現し得なかったことであろう。今後もこのようなネットワークを大切に、さらなるセキュリティ啓発活動に繋げていきたいと切に願う。